

業界トップの造船力へ

造船業界のリーディングカンパニーを目指し、  
「技術」と「ものづくり」で  
社会の発展に貢献します

「開発・技術力」「営業力」「研究設備」など、  
国内造船会社では最大級の陣容と規模を活用し、商品ラインアップの拡充を  
図るとともに、省エネ・環境負荷低減技術の開発にいち早く取り組み、  
お客様から高い評価をいただいております。  
今後もお客様のニーズに応える優れた性能と品質の船を  
タイムリーに提供し、国内海事クラスターの一員として、  
海上物流と海上安全に貢献してまいります。



ジャパン マリンユナイテッド 株式会社  
代表取締役社長 (CEO)

三島 慎次郎

大型省エネコンテナ船「NYK BLUE JAY」引き渡し

呉事業所で建造した14,000 TEU型省エネコンテナ船シリーズの1番船、NYK BLUE JAY。JFE スチールと共同開発した極厚高張力鋼「YP460」を採用するなどして、コンテナ積載能力を極限まで高めることで、同クラスで業界一の輸送能力を実現しました。また、JMU独自の省エネ装置を採用し、主機関には高効率の電子制御エンジンを搭載しており、高い省エネルギー性能を発揮するとともに、フレキシブルな運航を実現しています。



ヘリコプター搭載護衛艦「かが」引き渡し

2017年3月、防衛省向けヘリコプター搭載護衛艦(DDH)「かが」を引き渡しました。本艦は、基準排水量19,500トン全通甲板型ヘリコプター搭載護衛艦「いずも」型の2番艦であり、護衛艦「ひゅうが」「いせ」の建造を通じて得られた技術・経験を基に、航空機運用の中核艦機能と国際平和協力活動などにおける洋上拠点となる輸送機能を強化。ヘリコプター5機分の発着艦スポットを備えています。



最新鋭の低燃費・低CO<sub>2</sub>排出自動車運搬船竣工

統合により充実した開発・設計力を武器に取り組んだ戦略商品の建造が各事業所でスタートしました。2016年2月には有明事業所で建造した川崎汽船向けの自動車運搬船(PCTC)の1番船「DRIVE GREEN HIGHWAY」を引き渡しました。パナマ運河拡張に対応した幅広新船型の次世代型自動車運搬船です。積載車両数を大幅に増加しながら、低燃費技術を採用し、CO<sub>2</sub>排出量を削減しています。

JAPAN MARINE UNITED HIGHLIGHT 2016

2016年

- 6月 次世代省エネ型VLCC 1番船「GEM NO.1」引き渡し
- 7月 海の日イベントを横浜事業所磯子工場で開催  
5MW風車搭載浮体式洋上風力発電設備「ふくしま浜風」を福島沖に設置  
平成28年度計画イージス護衛艦(28DDG)を受注
- 9月 フィリピン共和国運輸通信省向け多目的船1番船引き渡し
- 11月 海上保安庁向け1,000トン型巡視船「もとぶ」引き渡し  
日本政策投資銀行より環境格付取得

2017年

- 2月 海上自衛隊における最大級のFRP製掃海艦「ひらど」進水
- 3月 海上自衛隊における最大のFRP製掃海艦「あわじ」引き渡し  
ヘリコプター搭載護衛艦「かが」引き渡し